

炎症性腸疾患の日常診療を取り巻く現況

演者 阿部 雅仁 (栄研化学株式会社)

炎症性腸疾患の日常診療を取り巻く現況

－ 診断・治療における各種バイオマーカーについて－

©阿部 雅仁¹⁾
栄研化学株式会社¹⁾

炎症性腸疾患 (IBD) は、慢性あるいは寛解・再燃を繰り返す腸管の炎症性疾患の総称です。国内では日本消化器病学会より診療ガイドラインが提唱されていますが、単一の診断基準はなく、臨床症状に加えて内視鏡検査や画像検査、臨床検査として血液検査・便検査・病理検査を組み合わせる総合的に診断されます。

本演題では、IBDの日常診療における現況とともに、診断・治療における各種バイオマーカーについてご紹介いたします。